

日々いきいきと

教育目標



明るい子
強い子
考える子

入間市立豊岡小学校
令和4年度 22号

入間市向陽台1-1-14番地

TEL 04-2964-5286

令和4年9月14日

児童数 383名

将来に向けて動き出す

学校長 村越 新

本校では、令和元年度より「特別の教科 道徳」の校内研修に取り組んでいます。心が動く授業の実践を通して、『自己マスターの育成』を目指しています。

『自己マスター』とは「自分の将来像に向かって、積極的に学ぶようになる過程」のことです。現在の自分や目指す自分を捉え、子供が将来に向けて努力を始めることをねらっています。

豊小っ子が道徳の授業で将来に向けた努力を決意したことが、発言やノート等への記述から伺えます。記述された言葉の一例を紹介します。



【伝統文化の尊重・4年生の授業より】

「昔の人の気持ちが分かった。重い物を持ち運ぶ大変さや、物を大切にしようとする気持ちが伝わってきた」

【規則の尊重・5年生の授業より】

「自分も相手も守れる権利を使って大切にしていきたい」

「これからは、注意深く、権利と義務について考えてから発言したい」

【友情・信頼・6年生の授業より】

「言葉づかいに気をつけ、人間関係をより深めていきたい」

「受け取り方が受け手によって変わる言葉は、極力ひかえようと思う」

【規則の尊重・6年生の授業より】

「誰にでも権利があるから、お互いの気持ちを尊重しようと思う」

「妹とよくケンカをするので、話し合いをしようと思う」

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うためにも、週に一度の道徳の授業はたいへん重要であると考えています。ご家庭でも、道徳の授業のことを話題にいただけるとありがたいです。

道徳アンケートより

令和4年7月実施

道徳で勉強したことを思い出し、家でしたことは何ですか。

【低学年の回答】

- 料理をしてみた
- 逆上がりをいっぱい練習した
- ミニトマトに水をやるときに元気に育ててねと言った。
- 元気に育てミニトマトと同じように自主学习でトマトと夏野菜を育てた。
- 正直にごめんなさいを言った。
- すなおにごめんなさいを言った。
- 友だちが困っているときに助けた
- いそいでいても礼儀正しくしている などなど

【中学年の回答】

- 後ろ跳びを毎日練習して、100回跳べるようになった。
- 自分のことより友達のことを優先している。
- 前よりあいさつするようになった。
- お父さんの分のおかしも食べてしまったけど、正直に言ったのでほっとした。
- 妹が「それほしい」と言ったときにそれをあげた。
- お手伝いって大事な事だと思い、お手つだいしていきたい。
- 「助けるのに理由はいらぬ」というのを思い出し、実際に助けたことがある。
- 目の不自由な人に道を教えてあげた
- ていねいな言葉づかいをするようにしている
- ポイ捨てをしなくなった
- ウソをついたら、すぐに謝った などなど

【高学年の回答】

- 放送委員会でいつも時間通りに行っている
- 花や草、自然を大切に、田んぼを枯らさないようにしている
- 学校で水やり（環境緑化委員会）をしっかりやっています
- 花を踏んでしまったことがあるが、花も大切な命だとわかったのだからからは気をつけたい
- 報われる努力かわからないけど、いつか実を結ぶと思うので、全力で行いたい
- エコバッグをいつも使う、バッグに入れている
- あいさつを心がけている
- 男女仲良く遊んでいる
- 知らない人に優しくした ○いじめられている人を助けた
- 手足が不自由な人に気を使っている
- おばあちゃんと過ごす一日一日を大切に過ごしている などなど